

二三五一番

新室にひむろの 壁草刈かべくさかりに いましたまはね 草くさのごと  
寄よりあふ娘をとめ子は 君きみがまにまに

二三五二番

新室にひむろを 踏ふみ鎮しづむ児こし 手玉てだま鳴らすも 玉たまのごと  
照てりたる君きみを 内うちにと申まをせ

二三五三番

長谷はつせの 弓月ゆつきが下したに 隠かくしたる妻つま あかねさし  
照てれる月夜つきよに 人見ひとみてむかも

二三五四番

ますらをの 思おもひ乱みだれて 隠かくしたる妻つま 天地あめつちに  
通とほり照てるとも 頭あちはれめやも